

令和5年12月4日

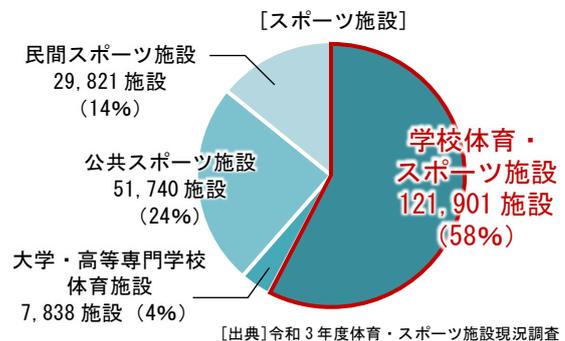
令和5年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」に係る実証事業開催のお知らせ

- スポーツ庁では、学校体育施設を地域スポーツの場として有効活用するための事業を推進しています。
- この度、本事業に係る実証事業を開催しますので、以下のとおり、お知らせします。



1. 本事業の趣旨

「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」は、我が国のスポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について、地域スポーツの場としての有効活用を推進するため、実証実験を通じて、持続可能な仕組みのモデルを構築するものです。



今年度につきましては、まちなかや公園等でボール遊びが禁止、もしくは制限されるといった事象がある中で、自由にボール遊びができる場として学校体育施設の開放を行い、安全に配慮した仕組みや体制を構築し、個人利用などができる取組をひとつのテーマとしています。

<参考>スポーツ庁「地域の身近なスポーツの場としての学校体育施設の有効活用」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1380329_00001.htm

2. 実証事業の概要

- (1) 名称 思いっきりチャレンジ！おにごっこ×ボールあそび！
- (2) 日時 2023年12月9日(土)
午前の部：11：00～12：00（10：30 受付開始）
午後の部：14：00～15：00（13：30 受付開始）
- (3) 場所 流通経済大学附属柏高等学校（〒277-0872 千葉県柏市十余二 1-20）
- (4) 内容 流通経済大学附属柏高等学校の学校施設を開放し、流通経済大学と開発したボール遊びを実施し、子どもたちに遊びの場を提供。
①ボール遊びとおにごっこを組み合わせたオリジナル遊びプログラム[申込制]
（ラグビーグラウンド及び体育館）
②ボール遊び場を提供（11：00～15：30（10：30 から随時受付）で一般開放）
（ラグビーグラウンド及び体育館）
※雨天の場合は、体育館のみでのプログラム実施となります。
- (5) その他 ・本実証事業は、「令和5年度 誰もが気軽にスポーツに楽しめる場作り総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」を株式会社博報堂DYスポーツマーケティングが受託し、流通経済大学及び流通経済大学附属柏高等学校と連携して実施しています。事業の趣旨等については、別紙をご覧ください。

3. 取材の申請

- 取材を希望される場合、また取材に関するご質問等がある場合は、12月8日(金)17：00までに、以下の連絡先にご連絡ください。
＜取材申請先（受託連携事業者）＞株式会社Link Sports メディア事業部（担当：稲葉）
電話：080-7557-2796 メール：kazumasa.inaba@linksports.co.jp
- 取材にあたっては腕章を携帯していただくとともに、現地担当者の指示に必ず従っていただきますよう、お願いいたします。

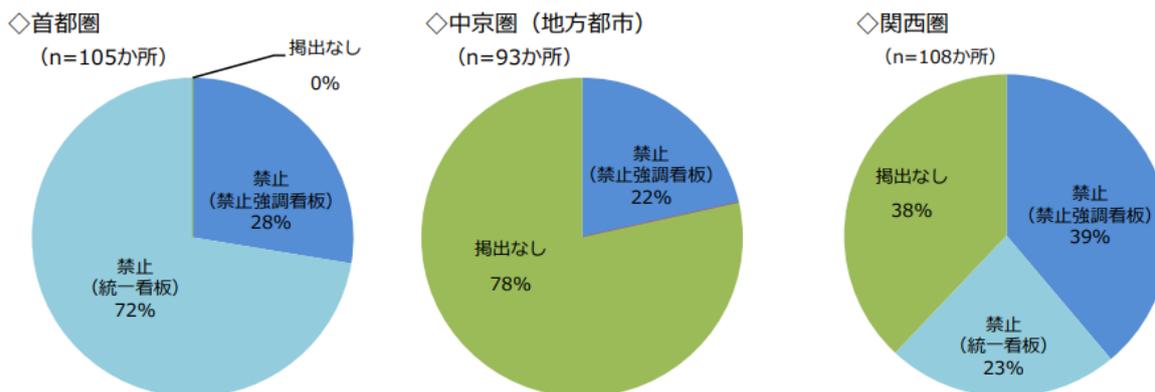
| |
|--|
| <p>＜担当＞ スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付 井上 電 話：03-5253-4111（代表）（内線3773） メール：stiiki@mext.go.jp</p> |
|--|

令和5年度 誰もが気軽にスポーツに楽しめる場作り総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）（受託事業者：株式会社博報堂DYスポーツマーケティング）

事業の背景・目的

◆遊び場の減少という社会課題

日本国内において、公園で野球やサッカーなどのボール遊びができる施設数は減少しています。特に首都圏では、多くの公園にて野球・サッカーを禁止する看板が掲示されており、子供たちは自由な遊び場を失っています。



参考データ 公園のチカラ LAB

https://www.atpress.ne.jp/releases/164461/att_164461_1.pdf

◆流通経済大学「地域に開かれた学校経営の重要性（コモンズ）」との親和性

流通経済大学はかねており、「地域に開かれた学校経営の重要性（この考え方を「コモンズ」と総称）」を掲げております。特定の人や団体が所有することなく、誰もが自由に利用できる、占有が許されない空間であること。私立学校である流通経済大学、またその附属高校・中学校の役割としては、より公共性の高い「共助」の空間として地域に存立するべきであるという考え方です。



このコモンズの考え方の中にある空間の共有が、スポーツ庁が進めている学校体育施設の開放（有効活用）に合致したことから、本事業の協力学校に至りました。

◆三方よし～それぞれの立場からのメリットの創出による好循環～

全国各地の公立学校
で同様の取組ができるモデルケースの検討・創出。



実証におけるプログラムの内容

◆「おにごっこ」という遊びの可能性

子供にとって身近であり、発育に重要な「鬼ごっこ」という遊びを通じて、場所とボールさえあれば誰もが楽しむことができるプログラムを流通経済大学スポーツ健康科学部大学院スポーツ健康科学研究科 准教授 小谷究氏と共に開発しました。

| 2017年 (n=1,542) | | | 2019年 (n=1,491) | | | 2021年 (n=1,449) | | |
|-----------------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|---------|
| 順位 | 実施種目 | 実施率 (%) | 順位 | 実施種目 | 実施率 (%) | 順位 | 実施種目 | 実施率 (%) |
| 1 | おにごっこ | 47.3 | 1 | おにごっこ | 52.6 | 1 | おにごっこ | 57.3 |
| 2 | 水泳 (スイミング) | 34.2 | 2 | 水泳 (スイミング) | 34.1 | 2 | 自転車あそび | 30.3 |
| 3 | 自転車あそび | 30.4 | 3 | ドッジボール | 29.0 | 3 | なわとび (長なわとびを含む) | 30.2 |
| | ドッジボール | 30.4 | 4 | 自転車あそび | 27.6 | 4 | ドッジボール | 29.2 |
| 5 | ぶらんこ | 25.4 | 5 | サッカー | 26.0 | 5 | 水泳 (スイミング) | 27.3 |
| 6 | サッカー | 24.3 | 6 | ぶらんこ | 25.7 | 6 | ぶらんこ | 26.8 |
| 7 | なわとび (長なわとびを含む) | 22.2 | 7 | なわとび (長なわとびを含む) | 24.4 | 7 | サッカー | 22.5 |
| 8 | かくれんぼ | 16.6 | 8 | かけっこ | 17.9 | 8 | 鉄棒 | 21.3 |
| 9 | 鉄棒 | 16.2 | 9 | かくれんぼ | 17.2 | | かくれんぼ | 19.8 |
| 10 | かけっこ | 13.7 | 10 | 鉄棒 | 17.0 | 10 | かけっこ | 17.1 |

参考データ 笹川スポーツ財団 子供・青少年のスポーツライフデータ 2021

https://www.ssf.or.jp/thinktank/sports_life/datalist/2021/index.html

◆ボール遊びとおにごっこを組み合わせたオリジナル遊びプログラムの開発

プログラムは下記3つの、さまざまな球技に転用できるプログラムを実施。
運動強度を①→②→③→④とし、子供たちにも楽しんでもらえるような内容に。

プログラム要件

- 全国で横展開できる
- ポール遊び(危機的)×鬼ごっこ(子供が参加しやすい)
- 特別なコーチ、環境などを必要としない
- 学生でも誰でも指導できる(子どもたちだけでもできる)
- 安心・安全なフォーマットがある

① ハンドリング鬼ごっこ

- ペアで一方が逃げる人、一方が鬼になり、1mの距離で向かい合って立つ
 - 規定のハンドリングを終えたら逃げたり、追いかけてたりすることができる
- 1) ボディーサークル(腹): 5 往復
2) ボディーサークル(頭): 5 往復
3) ボディーサークル(膝): 5 往復
4) フィギュアエイト: 3 往復

② パス追いかけ鬼ごっこ

- ※事前にエリアを作っておく
- 4人組を作る
1人が逃げる人、3人が鬼になる
 - ボールを持っている鬼だけが逃げて人にタッチすることができる
 - 鬼の3人はパスをしながら逃げて人を追いかける
 - 30秒間で何回タッチできるかに挑戦
 - ボールを持って走る、ドリブルはできない

③ ボール氷鬼

- 逃げる人はボールを持ち、鬼はゼッケンを着用
- ボールを持って逃げる人を鬼が追いかけて、鬼は逃げる人にタッチする
- タッチされた人は、頭の上にボールを掲げ、足を肩幅に開いて静止する(=凍る)
- 逃げて自分が自分のボールを凍っている人の股下を通せば、再び逃げるができる。
- 全員凍れば鬼の勝ち。

④ チェイサーシューティング

- 4人組になり、バスケットゴールの前で1列に並ぶ
- 先頭からフリースローを打ち、前の人から投げたら、次の人が投げるを繰り返す。
- チームで合計10本決めたら合図をする
- 一つのチームから合図があったら全チームフリースローを中断し、次のゴールにローテーションする
- 次のゴールに到着次第、再び先頭の人から同様にフリースローを打つ
- ゴールのローテーションが1周するまでにより多く10本のフリースローを決められたチームが勝ち

スポーツ庁

！気分に遊びに乗って！

参加無料

！小学生のお兄さんお姉さんと遊べるよ！

！身近な学校の大きな校庭や大きな体育館で思いっきり遊ぼう！

思いっきりチャレンジ！

おにっこ × ポールあそび！

2023年12月9日 土 雨天決行

時間 午前の部 11:00～（受付開始 10:30～）
午後の部 14:00～（受付開始 13:30～）

会場 流通経済大学付属柏高等学校
(ラグビーグラウンド・体育館 ※雨天時は体育館のみ)

参加対象 小学校6年生以下のお子様ならどなたでも（保護者同伴可能）
※下記①は小学校3年生～6年生が対象です。保護者の同意を得られる方。

実施内容

- ① ポール遊びとおにっこを組み合わせた遊びプログラム
(小学校3年生～6年生) 所要時間は60分程度を予定しております。
※午前・午後 各定員80名。定員を越えた場合、抽選となります。
- ② ポール遊び場提供 (上記未実施のご年齢のお子様)
ボールやバスケットゴール、サッカーゴールが設置され、どなたでも自由に遊んでいただけます。

申込方法  応募フォームよりお申し込みください。

11/30(木) 締切!

お問い合わせ 「思いっきりチャレンジ！おにっこ×ポール遊び！」運営事務局
✉ omochare@almellows.com

本事業は、スポーツ庁令和5年度「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」を株式会社樟屋堂 DY スポーツマーケティングが受託し、流通経済大学及び流通経済大学付属柏高等学校と連携して実施しています。

流通経済大学 **流通経済大学付属柏高等学校**